

# みほん

様式第2

## 特定施設使用届出書

令和〇〇年 〇月〇〇日

守口市長 殿

届出対象の法  
以外は消して  
下さい

届出者 住 所 東京都台東区台東〇〇—〇—〇  
株式会社 ○△商事  
氏 名 代表取締役社長 ◎△ □〇  
電話 03-〇〇〇〇-□▽□▽

(氏名又は名称及び住所並びに法人にあつてはその代表者の氏名)

騒音規制法第7条第1項  
振動規制法第7条第1項

の規定により、特定施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	株式会社○△商事守口支店 電話 (〇〇〇〇) △▽△▽		※ 整理番号		
工場又は事業場の所在地	守口市京阪本通 〇〇-〇-〇		※ 受理年月日		年 月 日
工場又は事業場の事業内容	総合商社		※ 施設番号		
常時使用する従業員数	20人		※ 審査結果		
△騒音(振動)の防止の方法	別紙のとおり		※ 備考		
特定施設の種類の種類	型式	公称能力	数	使用開始時刻(時・分)	使用終了時刻(時・分)
⑧(新しく追加された施設番号名称) 騒振	〇〇社 ABC〇〇	〇〇kw	1台	午前8時30分	午後9時
騒振					
騒振	法律に新しく特定施設として追加され、その施設を工場等で使用している場合にこの届出様式を使用して届出を行います。				
騒振					

「騒音(振動)の防止の方法」の様式を利用して詳しく記載してください

注

- 備考 1 特定施設の種類の欄には、騒音規制法施行令別表第1に掲げる項番号及びイ、ロ、ハ等の細分があるときはその記号並びに名称を記載すること。
- 2 騒音の防止の方法の欄の記載については、別紙によることとし、消音器の設置、音源室内の防音措置、遮音塀の設置等騒音の防止に関して講じようとする措置の概要を明らかにするとともに、できる限り図面、表等を利用すること。
- 3 振動の防止の方法の欄の記載については、別紙によることとし、吊基礎、直接支持基礎(板ばね、コイルばね等を使用するもの)、空気バネの設置等振動の防止に関して講じようとするその概要を明らかにするとともにできる限り図面、表等を利用すること。
- 3 ※印の欄には、記載しないこと。
- 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。
- 5 氏名(法人にあつてはその代表者の氏名)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあつてはその代表者)が署名することができる。

次のページに続きます

別 紙)

## 騒音（振動）の防止の方法

### 1 実施内容（計 画）

この用紙に記載できない場合は、別紙に記載して下さい

新築工場の建物は、遮音効果に優れているALC(150mm 厚)を使用し、出来る限り減音に努めます。

窓や換気扇部分からの音漏れについては、二重サッシ窓として防音効果を計ります(別添、メーカーの性能カタログを添付します) 又、換気扇は、防音カバーを取り付けることにより防音効果を高めます。

工場床面をコンクリート床とすること並びに制振ゴム(厚み100mm)を敷くことで、振動の防止に努めています。

上記内容については別図一〇を添付します。

建物・設備完成後、敷地境界線で騒音・振動の測定を実施し報告します。

### 2 添 付 書 類

#### (1) 付近の見取図

別図一 1

#### (2) 敷地内の建物配置図

別図一 2

#### (3) 特定施設等の配置図（事業場の平面図）

(特定施設から敷地境界線までの距離を記入してください)

別図一 3

※ 添付書類については、図面等を用いて提出してください

※ 特定施設・騒音（振動）の防止の方法等については、性能表、カタログや概略図などを添付し、詳しく、分かりやすく記載してください